



広報 ロザリオ

第154号

社会福祉法人
ロザリオの聖母会
千葉県旭市野中4017
Tel (0479) 60-0600
ホームページアドレス
<http://www.rosario.jp>
Eメールアドレス
honbu@rosario.jp



一般社団法人日本パラ陸上競技連盟副理事長
花岡 伸和 さん (障害者週間行事講師)

シドニーパラリンピック金メダリスト
荒井 のり子 さん

目次

巻頭写真 「パラスポの輪フォーラムにて」	1
年頭所感	2
創立記念日行事	3
長崎巡礼&教皇ミサ「POPE IN JAPAN 2019」に参加して	5
教皇ミサに参加して	6
障害者週間行事	7
連載 私の新人時代⑩「私の新人時代」	8
【RUN 伴ちば 2019 in 旭市】	9
もちつき会	9
千葉県障害者技能競技大会～アビリンピック千葉 2019～ 「輝くリーダー表彰」受賞	10

次

Mado-ka (まどか) で『クリスマスフェア』を開催!	11
イオンサンタ	11
お菓子と手作りオーナメントのプレゼント	11
寄附者御芳名	12
新任者紹介	12
各種表彰者	13
フォトギャラリー	14
聖火ランナーに荒井のり子さん決定のお知らせ	16
みんなの家よりバレンタイン商品のお知らせ	16
職員・ボランティア募集のお知らせ	16

年頭所感

理事長 石毛 敦

新年明けましておめでとうござ
います。年頭のご挨拶を申し上げ
ます。

職員の皆さんの日頃のご努力に
感謝申し上げますとともに、長い
期間に亘り私どもの事業を支えて
下さってきた多くの支援者の方々
に深く感謝申し上げます。

昨年は平成から令和への元号変
更という新時代の幕開けとなり、
新天皇陛下のご即位を日本国民が
総出でお祝いしました。11月には
38年ぶりにローマ教皇フランシス
コが来日され、新天皇と会見の場
を持ち、陛下のご即位を祝福され
ました。

はやぶさ2の小惑星着陸成功、
吉野彰氏のノーベル化学賞受賞、
渋野日向子さんの全英女子ゴルフ
優勝やラグビーワールドカップの
ベスト8入り、などのニュースは
日本人としての矜持を実感するこ
とができました。

その一方、9月、10月と連続し
て列島を大型の台風が襲い、想定
や常識をはるかに超える暴風暴雨
により、多くの方が亡くなり、家
屋やインフラなどが破壊され、今
でも被災者の方々が苦しんでいま
す。震度6以上の地震も熊本、北
海道、新潟で発生しています。

世界では、覇権を巡る米中の貿
易戦争の激化と制裁・報復の応
酬、EUからのBrexitを初
め、欧米先進国でのポピュリズ
ム・ナショナリズムの席巻など、
自由主義・グローバル主義からの
揺り戻し現象の発生、核合意を巡
る米イランの激しい対立、非核化
や制裁解除を巡る米朝協議、香港
での反政府抗議活動、各国でのテ
ロリズムの頻発など、政治経済面
における流動化や不安定化が進ん
でいます。

地球規模での気候変動により、
各国で異常気象が多発しました。
この流れは今後も激しくなってい
くと考えます。

再度、我が国に目を向けると、
少子高齢化と人口減少の同時進
行、格差の拡大や貧困の増大、A
IやICTなどデジタル化に併う
社会構造の急速かつ不可逆的な変
化などは、戦後70年以上に亘る人
口増加を前提とした経済、政治、
社会的システムを根本から転換す
る必要を強く促しています。

昨春の中西経団連
会長やトヨタ自動車
社長による「**経済界
は終身雇用を維持で
きないと思う**」と言
う衝撃的な発言は、
このことを象徴する
一例と思います。

社会経済上の基礎
条件が大きく変動する最中では、
今までの常識や経験が通用しない
場面が増えていくと思います。

従来の方法やアプローチを否定
することは、とても辛いことです
が、自分たちの常識や経験や成功
体験などを一度リセットし、行為
や行動の意味や意義を再確認し、
可能性をリストアップし、原因を



追究し、業務の改善、取捨選択や
省力化を検討して頂きたいと思
います。
経営理念「光の当たりにくい
人々とともに歩む」は聖書の見方
に由来する思想ですが、言い換え
れば、法人や施設・事業所は患者
さん利用者さんの幸せのために存
在することはもとより、職員の皆
さんの幸せのためのもの
でもあるということです。

利用者さん、職員ともに
幸せになるためには、職員
の皆さんが協力して、仲良
く一致団結していくこと
が肝要です。人の心の中
には安定や平和を求める強
い望みがあると思います。
それを妨げるものは対立、
争い、攻撃、差別や偏見です。

職員同士に不和や離反があつて
は、本務である利用者さんへの
サービスにも大きく影響します。

戦争、紛争、諍い、悔り、辱しめ、
謗り、嘲り、虐めやハラスメント
などは、それぞれ固有の要因が複
合的に絡み合い惹き起こされるの
でしょうが、その根底に共通する

動機や原因があると思います。

最後に、そのためのヒント、サジェスチョンとして、フランシスコ教皇が来日時の青少年へのスピーチやミサの説教の中から引用させて頂きます。

「虐める側こそ、本当は弱い人です。他者を傷付けることで、自分のアイデンティティを肯定できると考えるからです。自分とは違うと見做すや攻撃します。違いは脅威と思うからです。実は攻撃する人こそ怯えていて、見せかけの強さで装うのです。自分を大きく強く見せながらのだからです。自分は優れた存在なのだ実感したくて、大きく見せて強がる必要があるのです。攻撃する人は臆病者です。恐れは常に善の敵です。愛と平和の敵だからです。」

「人生に役立つことを一つ、皆さんに話したいと思います。人を軽んじ、蔑むとは、上からその人を見下げることです。つまり、自分が上で、相手が下だと。相手を上から下へ見てよい唯一正しい場合は、相手を起き

上がらせるために手を貸す時です。私を含め、この中にいる誰かが、誰かを軽んじて見下すなら、その人はどうしようもない奴です。でも、この中の誰かが、手を差し伸べ起き上がらせるために、下にいる人を見るのなら、その人は立派です。だから、誰かを上から下へ見るとき、心に聞いてください。自分の手はどこにあるか。後ろに隠してあるだろうか。それとも立ち上がらせるために、差し伸べているか、と。そうすれば幸せになります。」

「完全でもなく、純粋でも洗練されていなくても、愛をかけるに値しないと思ったとしても、丸ごとすべてを受け入れるのです。障害を持つ人や弱い人は、愛するに値しないのですか。よそから来た人、間違いを犯した人、病气の人、牢にいる人は、愛するに値しないのですか。」

結びとして、本年が、皆様一人ひとりとって、実り多き素晴らしい一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

創立記念日行事

法人本部

事務長 杉田 明

本会の全体行事の一つである創立記念日行事は、創立の理念であるカトリックの精神に触れ、職員一人ひとりの貢献を称えることを目的として行われるものです。10月7日はカトリックにおいて、ロザリオの聖母の祝日であり本会の創立記念日でもあります。新たな年号となった今年は、その祝日を

目前に控えた10月2日（水）13時から本会の小原ケイ記念聖堂において執り行われました。

第一部は、職員の多年に渡る功績を称える永年勤続表彰と、顕著な功績のあった職員の特別表彰が行われました。永年勤続表彰では、勤続30年が1名、20年が2名、10年が13名の合計16名でした。表彰式では本会理事長石毛敦からの祝辞に続き、受賞者に表彰状と記念品が授与されました。その後、受賞者を代表して聖母通園センター所長・高安からの謝辞が述べられました。さらに、特に功績のあった職員として聖ヨセフつどいの家看護師・高木、同調理員・山

崎、ナザレの家あさひ所長・荒井、そして香取障害者支援センターコーディネーター・細野の4名の職員に表彰状と記念品が授与されました。今回の特別表彰は法人内各施設・事業所において、他の職員からの推薦を受けて決定するもので、その表彰理由は次のとおりです。

聖ヨセフつどいの家看護師・高木は、本会の看護師として永きに渡り勤務した後、聖ヨセフつどいの家開所に際し、これまでの経験をいかんなく発揮するだけでなく、玄関や食事の際に使用するテーブルの上に、毎日花を飾り利用者のもとより、来客者や職員の心を癒やしていたことを称えるものです。同調理員・山崎については、本会の調理員として永きに渡り勤務した後、聖ヨセフつどいの家開所と同時に調理員として勤務し、一人で利用者や職員の食事を作り利用者一人ひとりの特性にあわせることはもとより、職員一人ひとりの嗜好にも配慮し、毎日お

いしい食事を提供しています。また、行事では率先して準備し趣向を凝らしたお菓子や食事を提供しています。さらには、厨房の衛生状態は、保健所の職員が絶賛するほど整えられているなど、高い職業意識と責任感に基づく日々の実践を称えたものです。次にナザレの家あさひ所長・荒井において、地域の消防団の活動やお祭りなどの地域行事に積極的に参加し、まさに地域に溶け込んだ活動を通して地域住民の本会への理解が進み、地元の消防団の合同防災訓練への参加協力、災害時の積極的な協力や地元住民によるイベントへの参加等につなげており、その功績を称えるものです。最後に香取障害者支援センターコーディネーター・細野は、本会内の部活動に忙しい業務の傍ら積極的に参加し、職員相互の親睦を図ってききました。とりわけ野球部においては、地域青年との野球を通じた交流の場である「長島茂雄旗争奪野球大会」において公式記録員兼事務局長、さらには選手として活躍していることを称えたものです。今回の特別表彰は、「光のあたりにくい人々とともに歩む」という

理念を体现する一つの取り組みとして、今後も職員一人ひとりが自らの意思で行っている貢献に対して、称え続けていくものです。

第2部は、菊地功大司教による「アフリカ宣教師として学んだこと」と題した講演会でした。ご講演に際して、1986年から8年間、南アフリカで宣教活動をしてきた際のご経験から得た知見と気付きを余す所なく披露していただきました。

このご講演の中で、人が生きるために最も必要なことは何かというメッセージが込められているように感じました。まずはガーナでのご経験のお話でしたが、厳しい経済危機の中、誰も命を落とさなかった。このことを現地の方々は、ガーナマジックと呼んでおり、その精神の基本は「誰も見捨てない」「誰も野垂れ死にさせない」というものであったそうです。



「ガーナの人々は、非常に厳しい貧困や自然環境の中でも希望に満ちた表情をしている。なぜそのような希望に満ちた表情ができるのかを考えたときに、単なる樂觀思考によるものではなく、ガーナマジックと呼んでいる『誰も見捨てない』精神が深く関与していると思わざるを得ない。誰かが自分のことを心配してくれる、誰かが助けてくれるという確信は、生きる希望を呼び起こすのだと感じた。」

「今の日本の状況、特に都市部では個人が孤立化している状況から、ガーナの現実を見たときに『羨ましい』と感じた。」

次に国際的NGOであるカリタスジャパンの援助担当者として、1995年から現在まで活動を続けていらっしやる中で難民キャンプに行き、リーダーたちに「何が必要ですか。」と聞いたところ、「俺

達は世界に忘れられたんだ。まだ難民がいることを伝えてくれ。」と言われたそうです。

「人間が生きていくために最も必要なものは『生きていく希望』であり、その希望は『誰かが自分を心配してくれている』という確信により生み出されるということである。」

難民キャンプでこのことに気づいて以降、様々な災害、紛争、など危機的壊滅的な状況の場所に訪問するたびに全く同じことを聞き続けてきた。」

この2つのお話を聞き、東日本大震災や台風15号の被害にあったときのことを思い出さずにはいられません。そして、本会第三代目理事長和田初枝が本誌に寄稿した言葉を思い出しました。

「人生にも社会にも常に問題が新しく起き、絶えることがありません。それが人生であり社会なら、私たちにとって大切なことは、助けを求めている人のまなざしの訴えを無視することなく手をさしのべ、相談にのり協力できる環境を充実させることに力を尽くさねばなりません。」(引用 広報ロザリオ第106号)

長崎巡礼&教皇ミサ 「POPE IN JAPAN 2019」に参加して

聖母療育園
城戸麻里

11月24日(日)午後1時30分、

長崎県営野球場に「VIVA♪

VIVA♪ PAPA♪」と3万

人の歌声が響きわたり、待ちに

待ったローマ教皇フランシスコの

ミサが始まりました。9月中旬よ

りミサ参加への応募を行い、11月

半ばに幸いなことに前から2ブ

ロック目の「アリーナ・一般」席

の参加証が届きました。祭壇で焚

かれたお香の香りが漂ってくるほ

どの距離の席に着き、「人間PAPA

様」と「教皇フランシスコ」

を身近で感じる事ができました。

朝から雷や雨で心配された天

気も開始1時間前には何事もな



教皇フランシスコ入堂

かったことのように真つ青な空と
まぶしい太陽が現れました。「パ

パ モービレ」に乗って小さな子

供たちを抱き上げ笑顔で祝福され

たり、旗を振っての大歓声の歓迎

に笑顔で手を振って応えられたり

する姿に「PAPA様」の気さく

な温かいお人柄を感じました。一

方ミサ中は、穏やかではあります

が力強く、時には厳しい「教皇フ

ランシスコ」の表情が印象的でした。

祭壇に65年前に長崎市の浦上

天主堂で被爆した通称「被爆マリ

ア像」が置かれ、しばらく沈黙で

祈られていました。マリア像の痛

みをともに感じておられるような

悲痛な御顔、平和への祈りが伝

わってきました。

今回の来日のテーマは「PRO

TECT ALL LIFE」

すべてのいのちをまもるために

」、長崎では「あなたに、話が

ある」でした。長崎はカトリック

の歴史も深く、カトリック信者の

多い地域です。過去には惨い迫害

が行われ、原爆が投下された地で



大浦天主堂

もありません。教皇フランシスコ

は、原爆の消えることのない傷

を負う日本は、全世界のためにい

のちと平和の基本的権利を告げ知

らせる役割を担っている」と話さ

れました。長崎と広島で、祈りを

捧げ、被爆者や犠牲者の遺族と面

会し、核兵器への反対を強く表明

されました。「武器を生産・取引

しながら平和について語ることは

偽善である」「いのちを守るに

は、いのちを愛さなくてはならな

い」と話されました。教皇フラン

シスコの来日の意味や被爆地長崎

で「話したこと」を心にしっかりと

受け止め、これから私たちが生き

ていく上での課題をひとつずつ解

決していかなければならないと感

じました。

教皇ミサの前に、大浦天主堂、

浦上天主堂、平和記念公園を巡礼

してきました。日本全国、世界中
からいらした観光客で溢れていま
した。宿泊したゲストハウス(2
段ベッドの8人部屋)では国内か
らミサにいらした方々や海外から
の修道士や修道女の方々とお会い
し、交流を深めることができました
。長崎の深く、惨い歴史遺産に
真剣な眼差しで向かい合い、祈る
姿がとても印象的でした。この度
の長崎巡礼と教皇ミサを通じ、小
さくてもささやかでも「光」を
灯し続け、「光」を増やしていけ
るよう今できることをひとつずつ
行っていきたいと感じました。



「あなたに、話がある。」

教皇ミサに参加して

海上療養所
係長 花牟禮香一

すでに新聞・テレビ等各社にて報道されているとおり、来日されたローマ教皇フランシスコは令和元年11月25日(月)の晴天に恵まれた日、東京ドームにてミサを捧げられました。この日を待ちわびた約5万人のカトリック信者は日本のみならず、世界各国から集まり会場は熱気に包まれながら、教皇をお迎えしました。



私もカトリック新聞社の御厚意により、理事長と共にミサに参列することが出来ました。会場には様々な国々の人々、宗教指導者が集まりました。ミサ自体も日本語をはじめ、ラテン語、英語、スペイン語、タガログ語、ベトナム語、韓国語などで構成され、このミサが意図するものは、日本人のみならず国や人種を越え、今回の来日テーマである『すべてのいのちを守るため』という大きなメッセージを発するひとつの形ではないか、と推察します。

実際に教皇フランシスコが入場したと同時に大きな拍手と歓声で向かえられ、世界中で庶民的と親しまれている教皇の影響力を真近で感じる事が出来たうえ、場内をパレードされた時には出来る限り信者たちと触れ合うサービス精神に溢れた一面を見る事ができました。

ここで、教皇フランシスコがミサの中での説教にて語られた事を一部紹介します。

『(前略)ここ日本は、経済的には高度に発展した社会です。今朝の青年との集いで、社会的に孤立している人が少なくないこと、いのちの意味が分からず、自分の存在の意味を見いだせず、社会の隅にいる人が、決して少なくないことに気づかされました。家庭、学校、共同体は、一人ひとりが支え合い、また、他者を支える場であるべきなのに、利益と効率を追い求める過剰な競争によって、ますます損なわれています。多くの人が、当惑し不安を感じています。過剰な要求や、平和と安定を奪う数々の不安によって打ちのめされているのです。(以下、略)』



この言葉は今の日本の現状を的確に捉えられていると思います。どんなに豊かになっても現在の平和な状況に流され、世界中のあらゆる紛争から目を逸らしているのではないだろうか、と考える良い機会になりました。それはまさに『すべてのいのちを守るため』という尊いテーマそのものだと思います。

最後に、今回このような貴重な時間を過ごす機会を与えてくださったカトリック新聞社の方々に改めて深く感謝いたします。



障害者週間行事

法人本部
事務長 杉田 明

令和元年度の障害者週間行事

(第一部 ボランティア感謝式・福祉作文コンクール表彰式、第二部 記念講演会)が、令和元年12月7日東総文化会館小ホールにて開催されました。生憎の悪天候の中ではありませんでしたが、200名を超える参加者の方で会場はほぼ満席となりました。この取組は、障害者週間において地域の方々に對して、障害者支援に関する理解啓発を目的として本会の地域貢献活



動として行っています。

第一部では、永きに渡りロザリオの福祉まつりにおいて、ステージへの出演を頂いている旭市立旭第一中学校の吹奏楽部の皆様、福祉まつりでの交通整理や防災訓練にて放水訓練の実演を頂いている旭市消防団第一中隊第二分団第三部の皆様、聖母療育園にて平成19年度からご利用者の朝夕の食事介助と入浴後の更衣・整髪等の生活支援のご協力や法人内の行事できる細やかな気配りで活動されている田辺弘子様に感謝状と記念品を贈呈させていただきました。

さらに、本会が30年前より児童生徒に福祉意識を高めていただくことを目的として行っている福祉作文コンクールにおいて、小学校15校89作品、中学校7校65作品が集まった中から、厳正な審査を行い、小学校4年生から中学校3年生まで学年ごとに38名の入賞者を選定し表彰をさせていただきました。詳細については、広報ロザリオ福祉作文コンクール特集号にて

審査員の選評とともに優秀作品を掲載させていただいておりますので、本誌と合わせて御覧ください。

第二部においては、一般社団法人日本パラ陸上競技連盟副理事長

花岡伸和様より、「私のターニングポイント」から「人生満足」の人生へ」と題して、ご講演をいただきました。さらに、本会が誇るパラリンピアンである荒井のり子さん(シドニーパラリンピック金メダリスト)とのトークセッションを行いました。講演では、ご自身の生い立ちから、パラリンピアンになるまでの経緯と現在に至るまでのご自身の心の動き、ご家族や周囲の方からの言葉、そして、一人の競技者としてスポーツやパラリンピックにかける情熱、最後には自分自身の生き方まで、ユーモアたっぷりに余すところなく語っていただきました。軽快な語り口の中にも、競技者として真摯に競技と向き合うこと、自分の人生に対する熱い想いが聴衆を魅了していました。特に「自分の人生を生き切る」「競技者として全うしたい」この言葉はスポーツを愛好する私自身の胸に強く残りました。きっと、会場の

方一人ひとりの胸に何らかの言葉のプレゼントが届けられたことと思います。講演が終わるとサプライズ企画として、アテネパラリンピックで同じ選手団にいた荒井さんが、お母様とともに花束のプレゼントを持ってステージへ。

花束贈呈のあとは短いトークセッションを行いました。お2人の出会いから始まり、それぞれのパラリンピアンの想いに、会場からも質問が出たり、笑いが起こったりと終始和やかな雰囲気です。お2人を迎えました。花岡様のますますのご活躍を祈念し、結びとさせていただきます。



連載 私の新人時代 ⑱

「私の新人時代」

聖家族作業所 所長 稗田睦樹

私のロザリオ人生のスタート地点を考えると、平成12年夏の就職面接になるのでしょうか。当時は神奈川の大学へ通っていたのですが、千葉に帰ろうかなあ、という軽い気持ちで福祉業界を選んだように思います。面接日、旭駅を降りるとスーツ姿の若者であふれ、行きはタクシートの相乗りで、帰りはバスだったでしょうか。のどかな風景を覚えています。細渕専務(当時)との面接で、「やる気があるなら」「野球はできるか」と問われ、野球未経験でしたが「やる気もありますし、野球もやっています」と都合よく返事したことを覚えています(野球はできなかったのですが、数年間長嶋旗野球大会の事務局を手伝わせて頂きました)。

平成13年4月に入職し、最初の所属は聖母療育園でした。同期全体で30名以上、聖母の同期で10名程いたのではないのでしょうか。聖母療育園では、たくさんの事を学

びました。挨拶や言葉遣い、ドアやカーテンの開け閉めという社会人としての基本的マナーから指導しなければいけなかった諸先輩の方々にはご迷惑をおかけしたと思います。業務場面では、洗面・歯磨き、更衣や排泄、食事支援に水分補給、入浴介助やシーツの敷き方など、全てが初めての経験でした。同期の中でも物覚えや段取りが悪く、毎日先輩が付いてくれるのですが、非常に負担をかけていました。迷惑をかけている自分が情けなく、手帳に書いた一日の流れ、利用者それぞれの食事や排泄の仕方、先輩から言われた事や自分なりの気づきを書きとめ、それを夜中に男子寮で復習する事を日課にしました。先輩が勤務後に



時間を設けてくれ、反省会をしてくれる事もありました。利用者との関係性を深めるには日も浅く、大きな前進はありませんでしたが、少しずつ充実を感じられるようになってきました。初めての夜勤で先輩の男性看護師から「一生懸命さはみんなに伝わっているから、焦らなくていいんだよ」と何気なく言って頂いた事が

とても励みになりました。聖母療育園の在籍は、3ヶ月という非常に短い期間でしたが初めての現場が聖母療育園で良かったと心から思います。給料を頂きながら、社会人として当たり前の事や基本的な心構えを学ばせて頂きました。配置される機会が多かった当時の5号室・10号室の利用者・職員の皆様には特に感謝しています。

新人時代二つ目の施設は佐原聖家族園です。開設したばかりで、施設も職員もとても若かったです(半数が新人でした)。佐原時代もたくさんのご迷惑をおかけしています。生意気な部分が多くあり、先



輩や同期に対しての態度は今振り返ると恥ずかしい限りです。利用者家族と感情的な口論になった事もあり、当時の石井園長が私の知らない間に「根は悪いやつじゃないから、大目に見てやってくれ」と利用者家族へ説明してくれたことを知りました。石井園長をはじめ、濃いメンバーに囲まれ生かされていた事を実感しています。

今回、新人時代を振り返るにあたり、人に恵まれていた事と、常に誰かの手助けを必要としていた事を再認識しました。入職してから利用者・家族・職員と周囲からたくさんの優しさや楽しさや充実感を与えられてきました。これからは、周囲に支えられ甘えながらも、少しでも与える側になれると思っています。

知識として学ぶ事と現場経験で学ぶ事、現場以外の日常で学ぶ事。福祉は全てから学べるのだと思います。目の前の事からこれからも学んでいきたいです。今後もよろしくお願い致します。

【RUN伴ちば2019 in 旭市】

友の家 主任 稲野正樹

令和元年11月2日に行われた

【RUN伴ちば2019 in 旭市】にロザリオの聖母会陸上部6人で参加しました。RUN伴とは、2011年から全国で始まり、今まで認知症の方と接点がなかった地域の方と、認知症の方や家族、医療福祉関係者が一緒にタスキをつなぎ、日本全国を縦断するイベントです。認知症の方と出会うきっかけ、喜びや達成感を共有することを通じて、認知症の方も



地域で共に暮らす大切な隣人であることを実感し、あらゆる人々の出合いの場をデザインし、顔の見えるつながりを各地で生んでいます。

11月2日当日は千葉県内23ヶ所と同じようにRUN伴が開催され、コースは各地で異なりますが、旭市ではチーム全員で長距離(11.2km)を走るAコースとチーム内でタスキを繋いで走るBコースがありました。迷わずAコースに参加しました。

当日は、参加者約1000人が全員揃いのオレンジ色のシャツを着て、旭市内の高齢者施設を回りながら、ゴールの旭中央病院まで走りました。途中、立ち寄らせていただいた施設の利用者や職員の方が飲み物や応援メッセージ等を用意して出迎えてくれ、皆さんの温かい言葉が走る励みにもなりました。また、普段出会うきっかけがなかった利用者や医療福祉関係職員とRUN伴を通じて多くの方と繋がることもできました。来年も

是非参加し、認知症の方が住みやすい地域創りに少しでも力になればと思うとともに、ロザリオの聖母会陸上部としても、これからも地域のイベントに積極的に参加していきたいと思えます。

最後になりますが、陸上部は今年4月から発足し、現在部員は20人。練習は月1回旭市内の公園で行っています。

尚、2月2日に行われる旭市飯岡しおさいマラソン大会にも陸上部メンバーが参加する予定です。当日は陸上部のTシャツを着て走りますので、見かけた方は応援宜しくお願い致します。



もちつき会

ナザレの家あさひ

12月21日、社会福祉協議会様よりご寄付いただきました餅米を使用したもちつき会が盛大に行われました。

毎年恒例の行事を利用者さんも心待ちにしており、当日はつきたてのお餅に舌鼓をうつだけでなく、大きな掛け声とともに力いっぱい餅をつく場面も見られました。

また、黒潮会さんをはじめ、学生ボランティアさんのご協力も頂き、会は盛況のうちに終わることができました。ありがとうございました。



千葉県障害者技能競技大会くアビリンピック千葉2019く「輝くリーダー表彰」受賞

みんなの家 主任 平野秀樹

令和元年11月30日(土)、千葉

県障害者技能競技大会くアビリンピック千葉2019くが千葉職業能力開発短期大学校にて開催されました。障害者技能競技大会とは障害のある方々が日頃培った職業的技術を競う大会です。種目は①ワードプロセッサ②ホームページ作成③パソコンデータ入力④喫茶サービス⑤ビルクリーニング⑥製品パッキング⑦オフィスアシスタントの7種目となります。障害者の職業能力の向上を図るとともに、広く障害者に対する社会の理解と認識を深め、障害者雇用の促進等を図る事を目的としています。

今大会より作業現場で輝く利用者表彰式が執り行われました。この表彰は「期待の星表彰」と「輝くリーダー表彰」の二部門による表彰となります。各施設において生産活動を展開していく中、永きに渡り施設の生産活動で活躍されている障害のある方に向けた表彰となります。

みんなの家からは、製パン班に所属する宮内凌哉さんが「輝くリーダー表彰」を受賞されました。宮内さんは製パン班の中では作業の幅も広く、一緒に働く仲間としては大変心強い方です。特に成形作業や食パンの袋詰め等、繊細さを求められる作業を毎日丁寧に取り組みられています。この様な実績からこの度、みんなの家より推薦されて表彰される事になりました。

企業で働く障害のある方が増えていく中、就労継続支援事業所において責任感を持って活躍する事は、大変尊い事だと思えます。今後もみんなの家として障害の多様性に応じた環境整備に務め、様々な障害をお持ちの方が活躍できる施設を目指して行きたいと考えております。



受賞おめでとうございます



宮内凌哉さん



第1回 作業現場で輝く利用者表彰式
千葉県社会福祉センター 協議会

Madoka(まどか)で『クリスマスフェア』を開催!

Madokaプロジェクト 管理者 井上創

昨年暮れの12月21日。Madoka(まどか)において、趣向を凝らした模擬店やゲーム大会、抽選会など恒例の『クリスマスフェア』を開催しました。



◆**地域で楽しい瞬間をつくりたい**
地元にもオモシロイことがたくさんある。皆でチカラを合わせれば、きっと楽しい瞬間がつけられるはず。いろいろみて欲しい、参加して欲しい、一緒に体験して欲しい。そんなことをキーワードに今年も趣向を凝らした模擬店やゲーム大会、抽選会などさまざまな催しを開きました。

◆**ともに楽しむ**
子どもときの経験は原体験となり、いずれは一人ひとりを形づくり、そして地域がつくられます。

大人になってもこの地域で楽しく過ごした日々を思い出せる、そんな一助になればと願い、実施しました。昔なつかしい「輪投げ」や「型ぬき」をはじめ、旭おもちゃの病院ボランティアさんらによる「射てき」や「なつかしいゲーム」などの数々、「わたあめ」や「ボールすくい」、自分や家族に向けてのタイムカプセル「未来への手紙」など。さらに今年は、ステージにて大抽選会や、中学生による「ダンスパフォーマンス」など、にぎやかな歓声がこだましました。

◆2020年に向けて

ご来場、ご協力いただきました皆さま、今年もありがとうございました。

老若男女、障がいのある人もない人も、ここに来ればホッとひと息がつける、何か楽しい時間が過ごせる。地域のみなさまが温かく迎えてくれる。そんな居場所づくりを目指し、2020年もMadokaの活動は続きます。

イオンサンタ

聖リハビリセンター 郡司昭子

12月14日に行われたクリスマス会に、イオン旭店よりイオンサンタさんに来園していただきました。聖マリアデイサービスセンターには、初来園ということでも、利用者様にはサプライズにしていた為、皆さんビックリされながらも、大きなプレゼントを抱えたサンタさんに大歓声と拍手が響き渡りました。また、頂いたタオルは皆さん大変喜ばれておりました。イオン旭店様、お忙しい中、素敵なプレゼントをありがとうございました。



お菓子と手作り

オーナメントのプレゼント

聖ヨセフつどいの家 川尻信子

昨年に引き続き、聖ヨセフつどいの家に聖心女子学院中等科の皆様より、お菓子の詰め合わせと手作りのオーナメントを沢山頂きました。手作りの飾りはきめ細やかな工夫がされており、とても華やかになりました。お菓子も子供達がおいしく頂きとても喜んでいただきます。心のこもったプレゼントありがとうございました。



第30回ロザリオ福祉まつり 寄附者御芳名

「今年度は台風の影響により中止になりましたので、
来年の「ロザリオ福祉まつり」に使わせていただきます。」

(有)アドラップ 様
光園芸 石毛光男 様
米本 弥栄子 様
森管工 森正志 様
阿部建設(株) 様
ハニービーという 様
平 廣子 様
多田 まさ子 様
佐野 淑子 様
大山 廣子 様
千葉 ふみ 様
山田 秀幸 様
鎌形 好子 様
松井 安俊 様
並木 孝仁 様
丸山 淑子 様
鈴木 好雄 様
田中 長子 様
札幌聖心女子学院
井出美美子 様
原田 裕子 様
小川 涉 様
大和田 幸子 様
援助修道会 景山 様
山崎防災設備 様
栗原 優美 様

山口 明美 様
林 悦子 様
石毛 幸恵 様
堀川 洋子 様
岩瀬 百合子 様
伊藤 幸子 様
千和会 井橋千代子 様
高上 伊栄子 様
高橋 道子 様
木村 燦麗 様
林 伸 様
高瀬 博史 様
平山 和久 様
伊藤 昌代 様
千葉興業銀行 旭支店 様
岩瀬 富子 様
岩瀬 ふさ子 様
辻村 成之 様
山中 知恵子 様
神保 進一 様
納家 麻理 様
高橋 好子 様
新妻 依里 様
加藤 恵美子 様
平山 幸市 様
そば処千曲 鈴木良枝 様

ダスキン 銚子 野口糧 様
村上 葉子 様
菅原 智子 様
宍倉 正 様
高野 万智子 様
鈴木 完勇 様
橋上 孝道 様
金井 芳子 様
鈴木 みわ子 様
総武ガス(株)
代表取締役 鈴木八重子 様
小島 八重子 様
渡辺 長子 様
片山 肉店 様
木内 由美子 様
大嶋 源子 様
小林 資子 様
佐久間 登代子 様
多田 真理子 様
九十九里ホーム 様
(有)ユーシン電設 様
聖心女子学院 もゆる会 様
鈴木 洋志 様
聖心会かしの家 様
大久保 光代 様
習志野教会信徒 西元正 様
河内 智子 様
常世田 好 様
田向 信子 様
荒井 のり子 様
佐瀬 耕樹 様
石毛 朋芭 様
田辺 純一朗 様

佐野 友紀 様
大塚 美恵 様
手崎 洋子 様
大木 規子 様
兵頭 恵子 様
石毛 京子 様
田中 葵 様
村田 幸子 様
聖家族園 家族会 様
ヤマサ醤油(株) 様
ヒゲタ醤油(株) 様
櫻井謙二商店(株) 様
広野 宣江 様
藤田 あつ子 様
佐藤 やよい 様
稲沼 久美子 様
菅谷 敏博 様
小池 京子 様
田中 絹子 様
君塚 範子 様
前田 忠勝 様
太田 義人 様
加藤 伸雄 様
菅谷 千恵子 様
柴田 直美 様
平野 光子 様
菅蒲沢 真知子 様
長嶋 義夫 様
吉田 政男 様
片野 謙一 様
林 義久 様
根本 次雄 様

寄附者御芳名

令和元年
9月1日
〜
12月31日

林 恵子 様
塩原 恵子 様
(有)ユーシン電設 様
石井 禎子 様
横山 伊津子 様
加瀬 政衛 様
社会福祉法人
旭市社会福祉協議会 様
田子 雄介 様
長嶋 義夫 様
木志根 茂行 様
渡邊 公伸 様
椎名 義子 様
大原 年子 様
丸尾 智恵 様
聖心女子学院 五月会 様
黒崎 知子 様
沢田 博 様
鈴木 教義 様

学校法人 旭鈴木学園
まっざわコーヒー 様
菅井 和正 様
吉松 和哉 様
飯島 英明 様
カトリック西千葉教会 様
田辺 弘子 様
レデンプトリスチン修道院 様
畠山 アイ子 様
秋山 世子 様
田中 長子 様
聖心女子学院中高もゆる会 様
中曾根 保子 様
聖心会 第一修道院 様
旭地区遊技場組合
組合長 小川憲二 様
木内 久枝 様
木村屋建築設計事務所 様
AMECコンサルティング 様



みんなの家



支援員

小原 あつ子

支援員としては初めての仕事ですが、今までのケーキ屋さん等の経験を活かして、皆に馴染めるよう頑張ってくださいます。

新任者紹介

ボランティア感謝式受賞者

令和元年度ボランティア感謝式の受賞者に、賞状と、ささやかな記念品を贈らせていただきました。受賞者は次の方々です。

- ◆ 旭市立第一中学校 吹奏楽部 様
- ◆ 旭市消防団 第一中隊第二分団第三部 様
- ◆ 田辺 弘子 様



ご協力ありがとうございました。

ロザリオの聖母会
令和元年度永年勤続表彰



【勤続30年】
高安 きみ江

【勤続20年】

加瀬 智美
大石 也里

【勤続10年】

石毛 咲美菜
武内 里美
葉計 亮
土橋 典
石橋 恵
川島 洋
佐藤 誠
平野 信
飯島 幸
宮内 智
石井 美

千葉県社会福祉事業共助会長長期在籍会員顕彰

石橋 敏子
和田 直文
和原 京子
小出 文雄
小出 文雄
三浦 智明
花牟禮 香一
和禮 直文

ロザリオの聖母会
令和元年度職員表彰



荒井 隆一
山崎 廣
高山 春江
高木 さやか
細野

千葉県社会福祉協議会会長表彰

石橋 恵子
江戸 理恵
大石 智也

Photo Gallery



皆~楽しいクリスマス

【クリスマス会】

食事美味しいね



【懇親会】

みんなで楽しい懇親会です



赤に負けるな~

【運動会】



お弁当美味しいね!



優勝おめでとう
ございます!

★聖家族園★

★聖ヨセフつどいの家★



三人仲良く
夕ワケクリスマス☆



お父さん
大好き♡



杉田事務長
久しぶり= (^_^)



サンタが
やっできた!!!



旭一中×栗源中のコラボレーション

★聖家族作業所★



【忘年会】

絵画クラブ
発表です



お母さんと一緒に



職員と一緒に

【クリスマス会】



サンタです



プレゼント
もらったぞ~

★ワークセンター★

Mado-ka
クリスマスフェア♪



お菓子詰め放題
笑顔の中に闘志満々！



忘年会

年忘れ!!!
ダンスでフイーバー♪



お料理最高♡

★聖母療育園★



楽しいクリスマス会!
みんな盛り上がってるー!

今年もサンタさんが
来てくれました!
フレセントはなにかなー?



★ナザレの家あさひ★



もちつき会!!! 臼きたてのお餅は美味しい♪

★聖マリア園★



国会議事堂へ
行ってきました!

マリアテイ
サービス



葛西水族館~みんなで行く外出楽しい(≧▽≦)



“生演奏”
戸素敵な音色♪
感激♡



家族で参加♪



「パプリカ」ダンスで
盛り上がりました(๑)♡



銚子イオン外出♡買い物♡
ティータイム♡最高!!!

お知らせ




生チョコドライ(1袋3カット入り) ¥300

ロールケーキ(箱付) ¥1,100

Happy Valentine's Day!



生チョコケーキ(ホール) ¥1,500

バレンタインの季節がやってきました。
今年もみんなの家の特製チョコ菓子のご注文を心よりお待ちしております
※写真はサンプルのため内容等の変更をする可能性があります。
商品については、みんなの家担当者にご連絡ください。
みんなの家 TEL 0479-60-0607

聖火ランナーに 荒井のり子さん (ワークセンター利用者) 決定

2020年夏の東京オリンピック・パラリンピックに先立ち、同年7月2日から4日にかけて行われます千葉県内聖火リレーのランナーとして走ります。

荒井さんはアトランタ大会、シドニー大会、アテネ大会の3回のパラリンピックに出場し、シドニー大会では、車いす陸上競技において見事金メダルを獲得しています。荒井さんは7月3日に走ります。ぜひ、皆様の熱い声援をお願いします。



ボランティア募集のお知らせ

ロザリオの聖母会では、施設や利用者のために常時ボランティアのご協力をお願いしています。お願いのできる方は是非、ご連絡ください。ご協力をお願いします。

問い合わせ
TEL 0479(60)0600
(担当 仲條)

職員募集のお知らせ

精神科、障害児者医療に携わる看護師を募集しています。
◆随時面接を行っておりますので、本部事務課までご連絡ください。
TEL 0479(60)0600
(担当 採用係)

本誌のバックナンバーを
ロザリオウェブサイトを
(<http://www.rosario.jp>)
に掲載しています。

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------|-------|------------|-------|-------------|---------|--------------------|-------|----------------------------|----------|-----------------------------|--------------|----------|-------------|---------|-------|---------|------|--------------|-------|---------|--------|-----------|----------|---------|---------------|-------------|----------------|----------------|---------|--------|-----------------|-----------|-----------|----------|------------|-----|--------------|----------|-----------|-------------|----------------|----------|
| 医療 保護 施設 | 海上療養所 | 訪問看護ステーション | ソフティア | 就労継続支援B型事業所 | ワークセンター | 医療型障害児入所施設・療養介護事業所 | 聖母療育園 | 生活介護・児童発達支援・放課後等デイサービス(重点) | 聖母通園センター | 児童発達支援事業・放課後等デイサービス(相談支援事業) | ロザリオ発達支援センター | 児童発達支援事業 | 旭市子ども発達センター | 障害者支援施設 | 聖マリア園 | 障害者支援施設 | 聖家族園 | 障がい者の就労促進事業所 | みんなの家 | 生活介護事業所 | 聖家族作業所 | 共同生活援助事業所 | ナザレの家あさひ | 高齢者支援事業 | ロザリオ高齢者支援センター | ロザリオ訪問介護事業所 | 通所介護・介護予防通所事業所 | デイサービスセンター・ローザ | 障害者支援施設 | 佐原聖家族園 | 生活介護・放課後等デイサービス | 聖ヨセフつどいの家 | 共同生活援助事業所 | ナザレの家かとり | 地域生活支援センター | 友の家 | 中核地域生活支援センター | 海匠ネットワーク | 香取市相談支援事業 | 香取障害者支援センター | 障害者就業・生活支援センター | 香取就業センター |
|----------|-------|------------|-------|-------------|---------|--------------------|-------|----------------------------|----------|-----------------------------|--------------|----------|-------------|---------|-------|---------|------|--------------|-------|---------|--------|-----------|----------|---------|---------------|-------------|----------------|----------------|---------|--------|-----------------|-----------|-----------|----------|------------|-----|--------------|----------|-----------|-------------|----------------|----------|